

★ 整備メニュー・内容 ★

- 基幹事業：計画の目標を実現するための主たる事業（道路本体に関わる事業）・・・道路改良事業，交通安全事業，防災事業，補修事業等
- 関連社会資本整備事業：基幹事業と一体的に行うことが必要な事業・・・河川事業，海岸事業，港湾空港事業，砂防事業等
- 効果促進事業：基幹事業と一体となって効果を一層高める事業・・・長寿命化等計画策定，景観整備，交通安全施設整備等

【成果目標①】

「安心とゆとりの創出時間」とは・・・

未改良の道路は，幅員狭小，線形不良等により十分な視距が確保できず，また，危険な法面等が存在し事故や災害が懸念され，歩行者や自転車等に注意しながら不安な運転を余儀なくされ，走行速度の低下を招いていました。

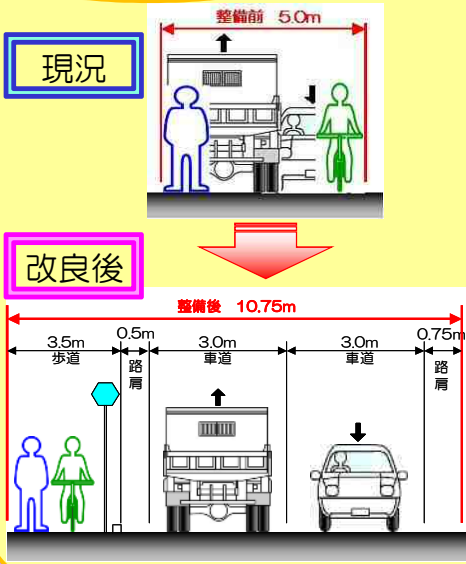
そこで，道路の利用者に

- ・ 「安心走行時間」：道路が改良されることにより，事故や災害等の不安や走行性の悪さに伴うストレスが解消され，安心して快適な走行が出来る時間
- ・ 「ゆとりの時間」：目的地までに要する時間が短縮されることにより得られる時間

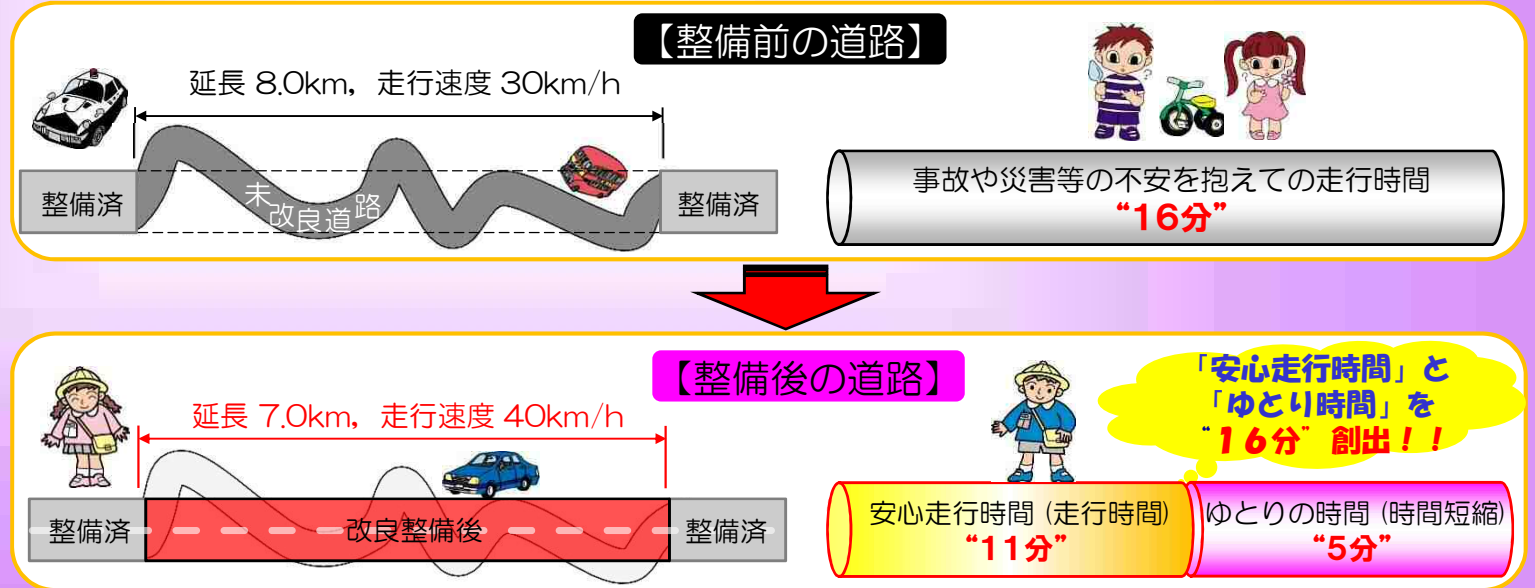
の余裕を提供するため，「安心とゆとりの創出時間」について目標を設定して整備を行いました。

このほか「防災対策必要箇所解消等による災害時等の緊急輸送活動の支援」，「舗装補修等により走行の安全性，快適性の向上」，「歩道設置に伴う自転車や歩行者の安全確保」の事業を推進しました。

整備イメージ



指標イメージ



【成果目標②】

「都市内道路の整備区間における走行時間損失の削減」とは・・・

都市内道路（都市計画道路）とは、都市交通施設としての機能のほか、次のような機能を持っています。

- ◎ 通風や採光、オープンスペースといった居住環境を維持するための機能
- ◎ 避難路や救援路などの都市防災施設としての機能
- ◎ 電気・ガス・上下水道・電話等の都市施設のための空間としての機能
- ◎ 市街化を誘導する機能

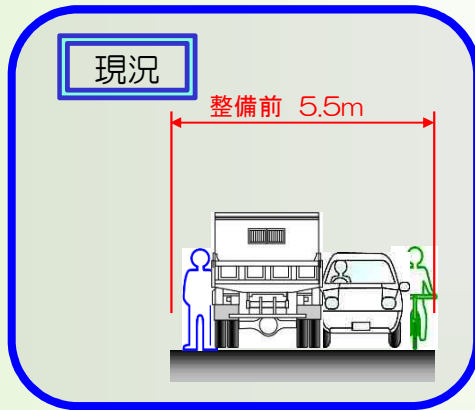
整備前の道路では、線形不良や、幅員の狭小、歩道未整備による歩行者や自転車等への配慮により、不安な運転を余儀なくされ、道路を通過するにあたり、相当な時間等を要しているところです。

今回、社会資本整備総合整備計画を策定し成果目標を設定するうえで達成度を目に見えるかたちにするために、道路を利用されている方々が改良前に通行した際にかかった時間と、道路が改良されることにより、安全・安心に通過することができる時間を算出し比較することとしました。

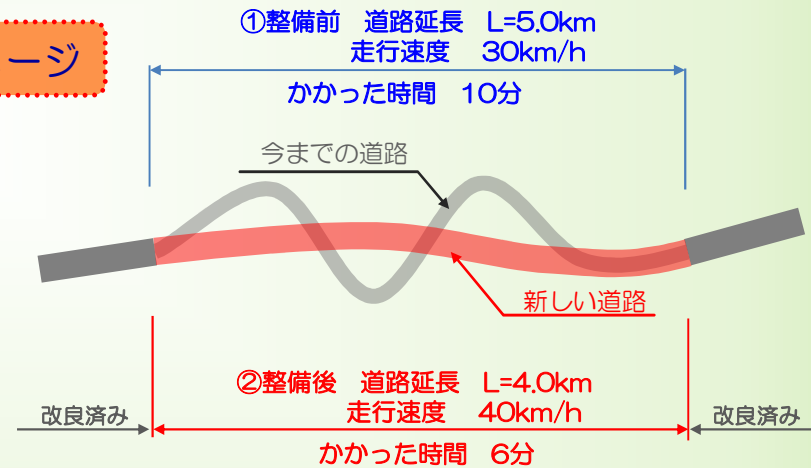
また、成果目標のほかに、都市計画道路を整備することにより、歩道整備による歩行者等の安全確保や都市空間の確保など、様々な役割を果たすことができます。

改良のイメージ

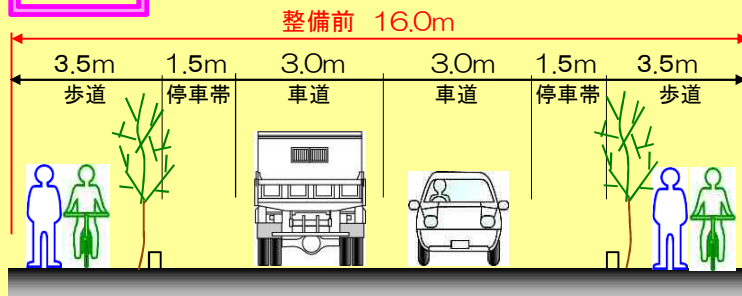
- 車と歩行者の分離による安心・安全な道づくり
- ゆとりある都市空間整備
- 植樹帯の設置による良好な生活環境の確保
- 停車帯整備による円滑な通行の確保など



指標のイメージ



改良後



$$\text{削減割合} = \left[\frac{6 \text{分 (整備後の走行時間)}}{10 \text{分 (いままでの走行時間)}} - 1 \right] \times 100 = \underline{\underline{-40\%}} \text{ (％)}$$

いままでも道路を通行するのに余分にかかっていた時間を走行時間損失としています。

今回の例では、道路改良を行うことにより、走行時間を**40%削減**（4分短縮）することができました。

計画名称

薩摩半島南部における交通連携強化と産業・観光振興支援による豊かな自然環境を生かした活力あふれる地域づくり

【事業主体】鹿児島県、枕崎市、指宿市、南九州市、南さつま市



計画の目標・計画期間

南薩縦貫道の整備と合わせたアクセス道路の整備、半島循環及び地域内交通網の整備により、広大な畑地や好漁場を生かした農林水産業の振興や観光・指宿などの観光拠点を活用した地域振興を支援し、豊かな自然環境を生かした活力あふれる生活環境を形成する。
[平成21年度～平成25年度（5箇年）]

道路利用者

車道が“約12km”改善され“約5分”走行時間が短縮

歩道が“約8km”整備され歩行者等の安全性が向上

法面危険箇所“1箇所”，舗装補修“約20km”を修繕

要素事業の進捗状況

単位：箇所

事業区分	区分	工種	計画	実施	完了		備考	
					完了	継続		
A：基幹事業	県	道路改良(指標①)	●	16	14	4	10	バイパス、現道拡幅
		修繕	▲	13	13	13	0	舗装補修等
		交通安全	■	4	4	4	0	歩道設置、交差点改良等
		街路整備(指標②)	◆	1	1	0	1	現道拡幅
		その他	—	0	0	0	0	
	市町村	道路改良(指標①)	●	17	17	7	10	現道拡幅
		修繕	▲	2	2	2	0	舗装補修
		交通安全	■	3	3	3	0	歩道設置
		街路整備(指標②)	◆	3	3	2	1	現道拡幅
		その他	—	0	0	0	0	
B：関連社会資本事業	—	—	—	—	—	—		
C：効果促進事業	県	植栽、調査等	—	3	3	3	0	橋梁長寿命化計画等
	市町村	調査等	—	6	6	6	0	橋梁長寿命化計画等

目標達成状況

指標①	計画の成果目標	改良により安心・快適な走行時間とゆとりの時間の創出			
	定義及び算定式	「安心とゆとりの創出時間」= (改良後延長/将来速度) × 将来交通量 + (現況延長/現況速度) - (改良後延長/将来速度) × 将来交通量			
	達成状況	達成度 ⇒ 51%	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)	
		国道226号ほか3箇所及び市道内山田東山線ほか6箇所を完了し、南薩縦貫道へのアクセス道路である県道枕崎知覧線や市道野崎清水線などの整備を行ったが、地形が急峻な箇所のトンネル事業等、大規模構造物の重点化により、一部の改良事業箇所の完了が図れず、目標を達成できなかった。なお、修繕や交通安全対策事業については、全て事業完了を図ることができた。	目標値	0時間	1255時間
			実績値	—	637時間
指標②	計画の成果目標	都市内道路の整備計画区間における走行時間損失削減			
	定義及び算定式	「走行時間損失の削減割合」= (評価時における走行時間損失/現況(H21)における走行時間損失-1) × 100 (%)			
	達成状況	達成度 ⇒ 108%	当初現況値 (H21)	最終値 (H25)	
		2箇所の整備を完了し、都市計画道路渡瀬通線では整備区間の一部であるJR指宿枕崎線の踏切部拡幅を行うなど、道路拡幅による走行性の向上、旅行速度の改善が図られ、目標を達成できた。	目標値	0%(7.3h)	-50%(3.7h)
			実績値	—	-53%(3.4h)

今後の方針

半島循環道路で緊急輸送道路でもある国道226号笠沙工区や南薩縦貫道へアクセスする県道類娃川辺線、国道226号の災害通行不能時の代替道路である市道麓荷辛路線や都市計画道路の渡瀬通線など、H26年度より新たな整備計画にて鋭意整備を促進し早期供用に努める。

事業箇所



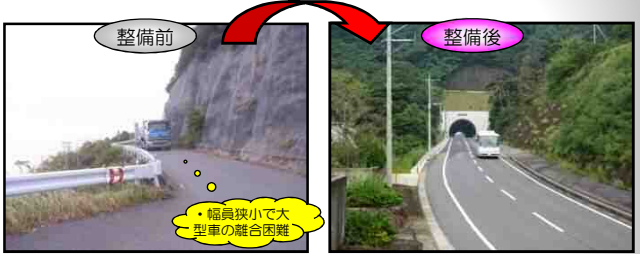
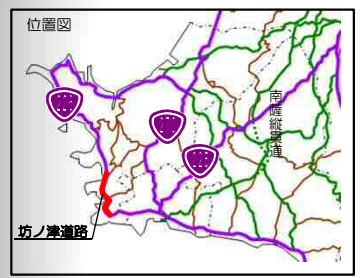
※実施代表箇所図示

計画名称 薩摩半島南部における交通連携強化と産業・観光振興支援による豊かな自然環境を生かした活力あふれる地域づくり **整備効果事例**

【事業主体】 鹿児島県, 枕崎市, 指宿市, 南九州市, 南さつま市

道路改良

ぼうのつ とまり
一般国道226号(南さつま市坊津町泊地区)



幅員狭小で大型車の融合困難

★整備効果★

バイパス整備により、幅員狭小・線形不良の隘路区間を解消。
また、走行距離も短縮され、緊急輸送道路としての機能強化が図られた。

- ◆バイパス整備により1.3km短縮
- ◆走行時間が約4分短縮
- ◆緊急輸送道路の機能強化



街路整備

わたせどおりせん
都市計画道路 3・4・3号 渡瀬通線
いぶすきていしゃじょうせん
(一般県道 指宿停車場線)



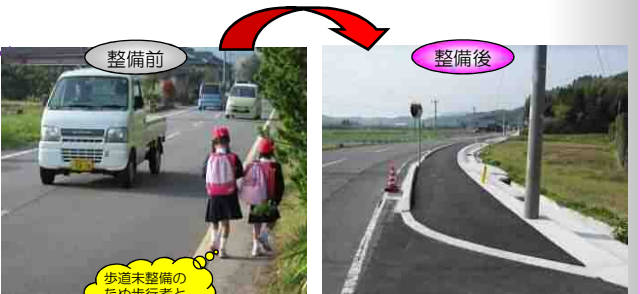
★整備効果★

JR指宿枕崎線の渡瀬踏切の拡幅・歩道設置による駅利用者の利便性向上、歩行者の安全性確保が図られた。

- ◆拡幅による車両のスムーズな通行確保
- ◆旅行速度が約25km/h向上
- ◆歩道整備による歩行者の安全性確保

交通安全 (歩道設置)

ながたただ みなみきゅうしゅう かわなべ たかだ
1級市道 永田高田線(南九州市川辺町高田地区)



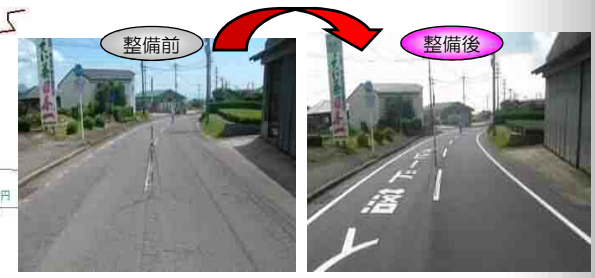
歩道未整備のため歩行者と車両が接近

★整備効果★

交通事故防止及び通学児童生徒の安全、安心な通学路が確保された。

修繕 (舗装)

いしがきいれ みなみきゅうしゅう えい かみべつぷ
一般県道 石垣喜入線外 (南九州市 穎娃町 上別府地区)



★整備効果★

舗装の老朽化により、クラックや路面の凹凸があったが、舗装修繕により走行車両の安全性確保が図られた。